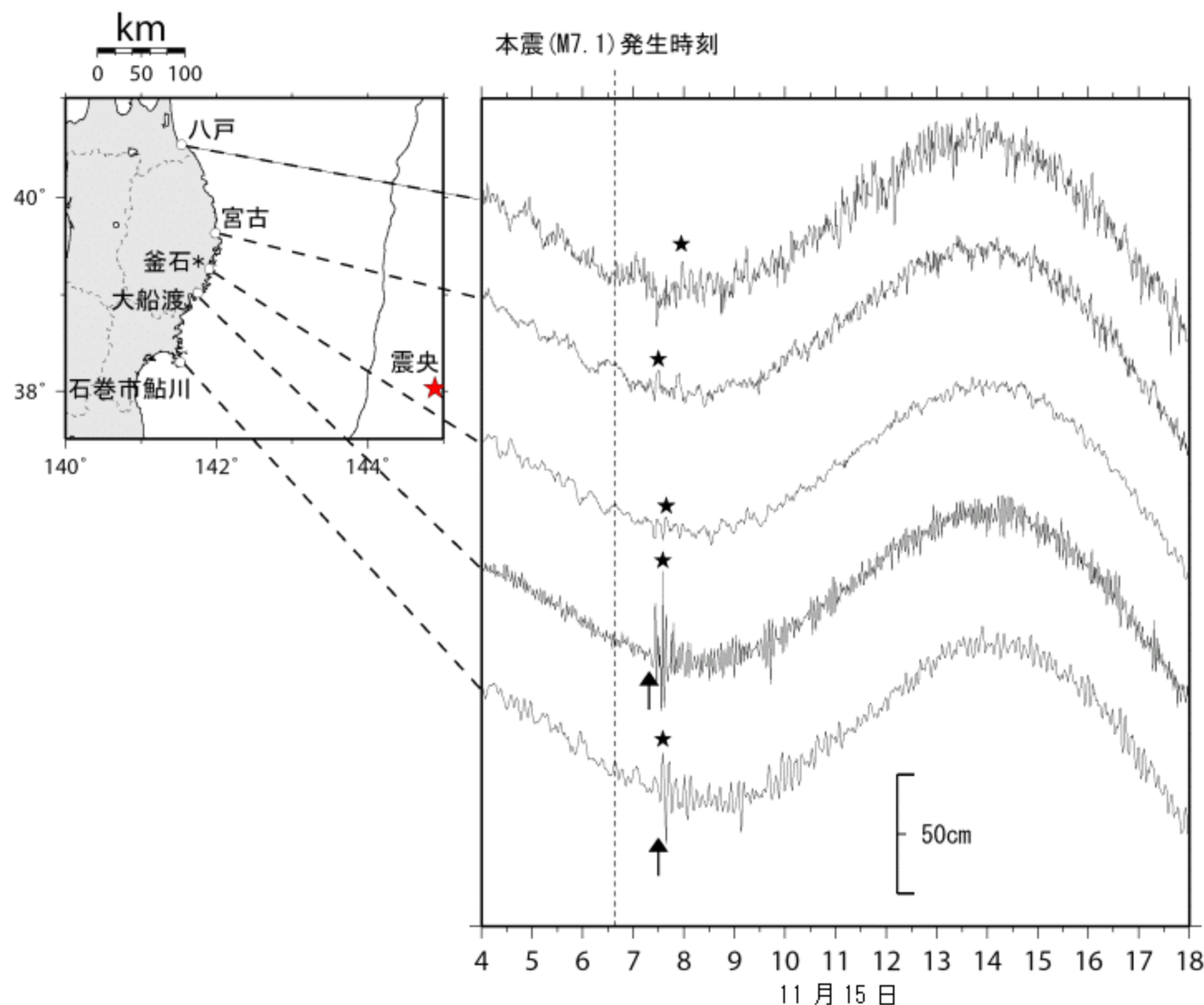


# 11月15日 三陸沖の地震（津波）

11月15日の三陸沖の地震(M7.1)により、東北地方の太平洋沿岸で津波を観測した。検潮所で観測された津波の波形と観測値は以下のとおりである。最も高い津波が観測されたのは、岩手県大船渡の42cmであった。



検潮所の位置（左図）と検潮所で観測した津波の波形（右図）

左図：○印 ★印はそれぞれ検潮所、本震の位置を示す。

右図：点線、矢印 ★印は、それぞれ本震の発生時刻、第一波の到達時刻、最大の高さの発現時刻を示す。

釜石観測点は海上保安庁所属であり、宮古観測点は音波式水位計である。

検潮所で観測した津波の観測値

都道府県名	観測点名称	第一波			最大の高さ	
		到達時刻	走時（分）	高さ（cm）	発現時刻	高さ（cm）
青森県	八戸	-	-	-	7時57分	13
岩手県	宮古	-	-	-	7時30分	9
岩手県	釜石	-	-	-	7時39分	4
岩手県	大船渡	7時24分	45	-4	7時35分	42
宮城県	石巻市鮎川	7時30分	51	-7	7時35分	16

今回の地震によって、検潮所で観測した津波の観測値を示している。走時は、地震発生時刻から第一波到達時刻までの時間を示す。第一波の高さにおいて、負の値は初動が引きであったことを示す。表中の値は暫定値であり、後日変更される場合がある。